

平成26年度 第1回地域生活支援部会

◎累犯障害者を支援する社会資源

	社会資源	キーワード・支援内容など
1	刑務所	「分類」「特別調整」(社会福祉士)、SST(社会生活技能訓練)
2	警察	
3	検察庁	
4	社会福祉士会、弁護士会	拘留時「大阪方式」更生支援計画
5	地域定着支援センター	
6	権利擁護サポートセンター(社会福祉協議会)	後見、権利、日常生活自立支援事業
7	指定相談、基幹相談支援センター、障害者更生相談所	見守り、見立て(原因究明を含む)
8	ショートステイ(SS)、病院	出所後すぐなど、一時期の住まい
9	つばさ	触法に特化した施設、SST、アンダーコントロール
10	サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)	住まい
11	作業所、ジョブサポ(コスモス)、NPO法人南大阪自立支援センター(いしの商会)	日中活動
12	障害者就業・生活センター、大阪障害者職業センター	就労継続(怒り・ストレスへの支援)
13	地域福祉課、生活援護課	生活歴・家族情報の蓄積あり
14	障害者更生相談所、こころの健康センター	更生プログラム(フットプリント)、家族支援SMARPP(スマープ)

各施設では…必要な情報を得にくい。失敗を繰り返す。職員が困難ケースを必死で支援している。

専門機関、ノウハウが無かった(構造化、ルーツ)

うまく行かない時、次の行き先がない。